【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公開番号】特開2007-125873(P2007-125873A)
【公開日】平成19年5月24日(2007.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2007-019
【出願番号】特願2006-95725(P2006-95725)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　27/36　　(2006.01)
Ｅ０４Ｄ　13/064　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　27/36
Ｅ０４Ｄ　13/064　５０１Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月6日(2008.10.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
非晶状態の熱可塑性ポリエステル系樹脂シートを、該熱可塑性ポリエステル系樹脂のガラス転移温度－２０℃～該熱可塑性ポリエステル系樹脂のガラス転移温度＋２０℃の温度で引抜延伸した後、該引抜延伸温度より高い温度で一軸延伸して得られた延伸熱可塑性ポリエステル系樹脂シートの両面に、熱可塑性樹脂シートが熱可塑性ポリエステル系樹脂製織布及び／又は不織布により融着されていることを特徴とする積層成形体。
【請求項２】
２枚以上の延伸熱可塑性ポリエステル系樹脂シートが、延伸方向が略同一方向になるように積層されていることを特徴とする請求項１記載の積層成形体。
【請求項３】
２枚以上の延伸熱可塑性ポリエステル系樹脂シートが、熱可塑性ポリエステル系樹脂の融点より低い融点を有するホットメルト型接着剤で融着されていることを特徴とする請求項２記載の積層成形体。
【請求項４】
２枚以上の延伸熱可塑性ポリエステル系樹脂シートの間に、熱可塑性ポリエステル系樹脂の融点より低い融点を有するホットメルト型接着剤が含浸している織布及び／又は不織布が積層され、該ホットメルト型接着剤により接着されていることを特徴とする請求項３記載の積層成形体。
【請求項５】
積層成形体が、外装建材であることを特徴とする請求項１～４のいずれか１項記載の積層成形体。